

メディカル・クオータリー

MEDICAL
QUARTERLY

特集

外科医が伝えたい
動物咬傷の注意点

寺岡記念病院 理念

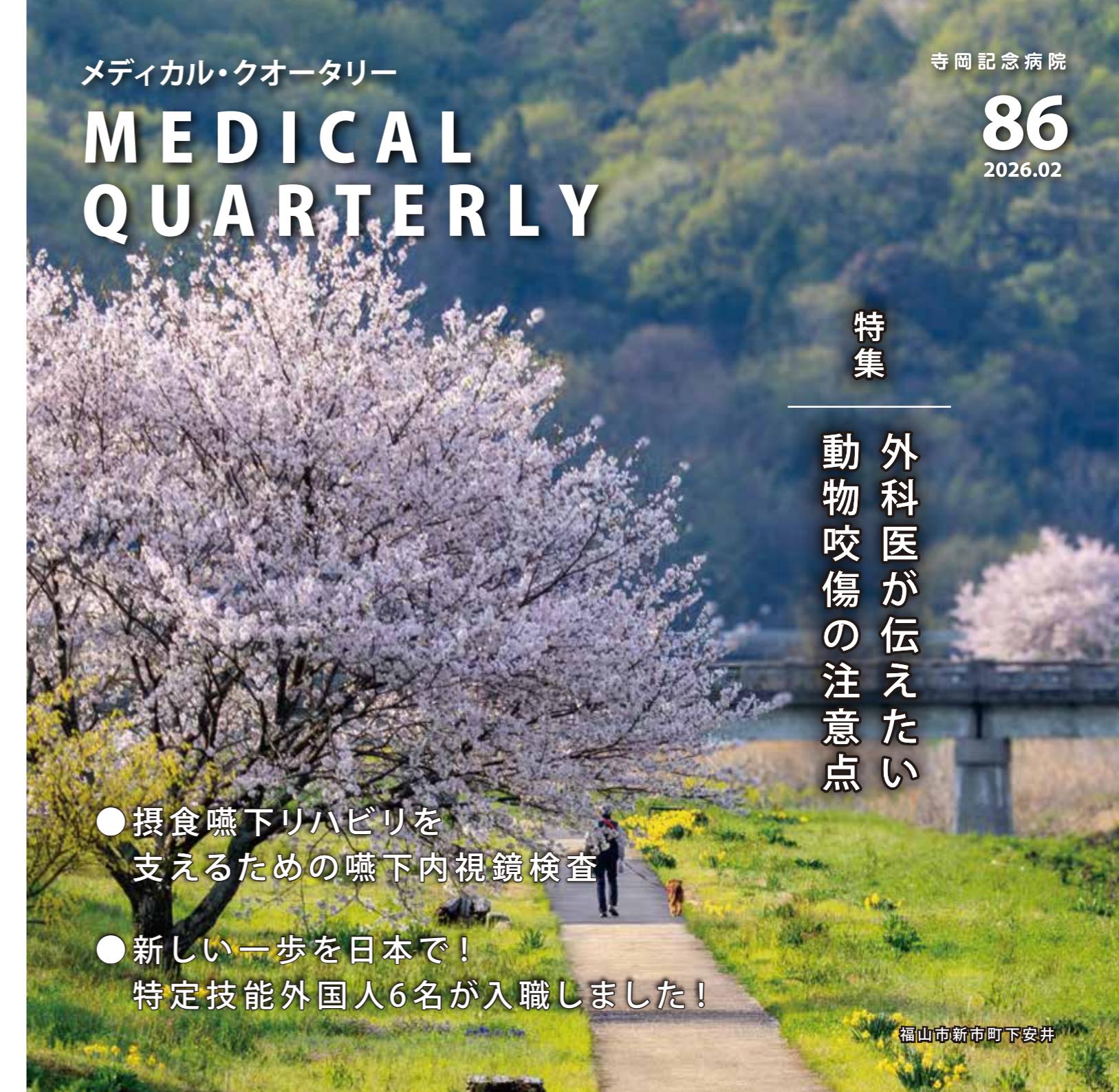
トータル&シームレスケア
全人的で切れ目のない医療提供の推進社会医療法人社団陽正会
寺岡記念病院

〒729-3103
広島県福山市新市町新市37番地
TEL 0847-52-3140(代)
Email／info@teraoaka-hosp.jp
<https://www.teraoaka-hosp.jp>

寺岡記念病院

公式 Instagram
@teraoaka_hosp

@TERAOKA_HOSP



●摂食嚥下リハビリを
支えるための嚥下内視鏡検査

●新しい一步を日本で！
特定技能外国人6名が入職しました！



外科医が伝えたい 動物咬傷の注意点



寺岡記念病院
外科部長 手術室部長
外科医師 花畑 哲郎

はじめに

最近は犬や猫などペットを飼う方も多くなり、生活に身近な動物に咬まれることは珍しくありません。受診する方も増えています。実際には散歩中や自宅でのふれあいなど、日常の中で起こるケースがほとんどです。動物による咬傷は歯による組織の損傷だけでなく、見た目は小さな傷でも、歯についた細菌により感染症や後遺症につながることがあります。特に手指は腱や関節が密集しており、感染が広がりやすい部位です。放置すると、動かしにくさなどの後遺症が残ることもあります。

動物咬傷の危険性

動物に咬まれると、傷口から細菌が体内に入り込む危険があります。深く咬まれた場合、歯は細長いため小さな傷でも深くに細菌が残ることが多いのです。大体の場合、その深くに残った細菌が繁殖し感染を起こすことになります。化膿しても咬み傷が大きければ、そこから膿が自然に出てきたり、自分で絞り出すことも可能ですが、傷が小さいとかさぶたなどで閉じてしまい、たまたま膿が深い部分で広がっていくことがあります。

咬まれる動物の頻度としては、犬:猫:その他=8:1:1ですが、感染率は猫が高く犬の10倍です。骨や関節まで細菌が到達することもあります。まれに敗血症を起こすこともありますので注意が必要です。

ワンポイント注意!

動物に咬まれたら、見た目が小さくても要注意。

流水でしっかり洗い、早めに医療機関を受診しましょう。

特に猫による咬み傷や、手指の傷は感染が進みやすいため注意が必要です。



咬まれたときの応急処置

大切なのは傷の中に細菌が残らないようにすることです。まずは傷口を流水で数分以上しっかり洗い流しましょう。その後、出血している場合は止血し、清潔なガーゼで覆い医療機関を受診することをお勧めします。特に猫に咬まれた場合や深い傷は、早めの受診が必要です。

医療機関での対応

原因となる動物の口腔内の細菌として、バストラレラ属菌や破傷風菌などがあり、抗菌薬の投与が行われ、必要に応じて破傷風ワクチンの接種が検討されます。犬に咬まれた場合の狂犬病については、日本では心配する必要はありませんが、海外で咬まれた場合は必ず医療機関に相談してください。

感染が進んでいる場合には、外科的な処置(麻酔をした上で切開したり、膿を出す管を入れるなど)が必要になることもあります。受診の際は、いつ・どの動物に・どの部位を咬されたかをできるだけ詳しくお伝えください。



患者さんへのメッセージ

「浅い傷、小さな傷だから大丈夫」と思わず、必ず洗浄・止血・受診を心がけましょう。早めの対応が重症化を防ぎます。特に子どもや高齢者、持病のある方は感染が広がりやすいため注意が必要です。迷った場合は「念のため受診」が安心につながります。

摂食嚥下リハビリを支えるための

嚥下内視鏡検査(VE)



寺岡記念病院
内科医師 城戸 雄一

前回の記事(メディカルクオータリー11月号)で「口から食べること」の大切さとそれを支える摂食嚥下リハビリテーションについてご紹介いたしました。今回はそのリハビリを安全に行うために必要な検査として嚥下内視鏡検査(以下VE)についてご紹介いたします。

VEはまだ馴染みがない検査かもしれません。鼻からの内視鏡で喉を観察し、口から飲み込んだものが通過する様子をリアルタイムで評価する検査になります。健康診断で受ける鼻からの胃カメラ(上部消化管内視鏡検査)と似ているようですが、目的が異なり麻酔も観察も短い時間で終わる負担の少ない検査です。

■ 検査の対象について

検査の対象となるのは、摂食嚥下障害(以下 嚥下障害)を疑う場合です。

代表例は脳卒中(脳出血・脳梗塞)やパーキンソン病、認知症、加齢に伴う低栄養や筋力低下、誤嚥性肺炎などです。ただし要因は複数あることが一般的です。嚥下障害の頻度を調べた研究によると、病気の種類によって幅があるものの20%~80%以上と報告されています。

したがって病気の種類にかかわらず、「むせやすい」「飲み込みにくい」「食事に時間がかかる」「食事中や後から咳や痰が増える」「食べる量が少なくなった」「体重が減ってきた」などなど、ご本人・ご家族・介護をする周囲の方が少しでも不安を感じる場合には検査をお勧めします。

■ 検査の準備について

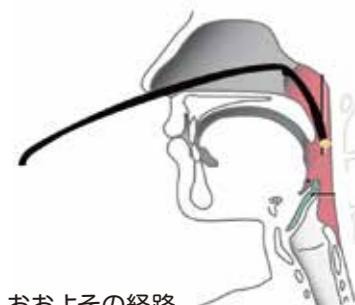
VEを行う前には言語聴覚士による事前確認を行います。そのなかには現在や過去の病気の状況、服薬内容、普段の食べる量や様子、さらに介護が必要な方はその様子も伺います。他にも意識の状態、認知機能、生活の自立度、首や手足の運動性、栄養状態についても評価を行います。これらを踏まえ簡易検査をしたうえで安全にVEを行う準備をします。入院中には歯科衛生士による口の中のチェック(歯や義歯、舌など)も行います。摂食嚥下サポートチームや栄養サポートチームと連携することもあります。

■ 検査について

鼻の中をスプレー麻酔し細い内視鏡で検査します。10cmほどで喉の奥が見えますので形や動き、感覚を確認します。その後に色を付けた水やゼリー(誤嚥しても無害)を飲んでいただきます。喉を通過する際の反射遅延や残留の様子、誤嚥や喀出の様子を観察します。後で確認するための動画記録も行います。飲み込みが弱い方は体の向きなどで通過のし易さが変わることがあり、検査時の姿勢も同時に動画記録します。数口飲んでいただき、検査は終了となります。

まとめ

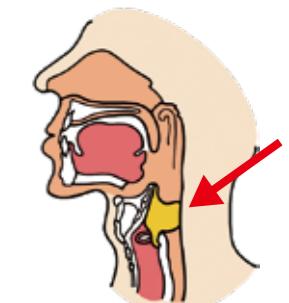
摂食嚥下リハビリテーションが口から食べることをサポートするように、この検査は安全かつ快適に口から食べることができる方法を探すための検査です。一回の検査で悪い結果だったとしても、病気や体の状態が整えばよい結果に変わることもしばしばあります。繰り返し評価を行えるところがこの検査の良いところでもあります。当院では嚥下内視鏡検査と嚥下造影検査の二つを使い分けて治療方針の決定に役立てています。



おおよその経路
出典 日本国学会雑誌 111:
2407~2413, 2022.



嚥下内視鏡検査(VE検査)のイラスト
©えすていちゃん/熊谷禪



梨状窩に貯留する図
©えすていちゃん/熊谷禪

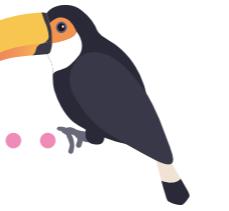
摂食嚥下関連医療資源マップ
(広島県 福山市)



[https://swallowing.link/
?pref=hiroshima&s=福山市](https://swallowing.link/?pref=hiroshima&s=福山市)

新しい一步を日本で! 特定技能外国人6名が入職しました!

広報委員 公認心理士 植松 尚美



2025年11月から、当院に4名、ローカルコモンズウィルに2名の特定技能外国人が新たに入職しました。海外で働くのは初めてという皆さん。期待と少しの不安を胸に、日本での新しい一步を踏み出しています。今回は、入職直後の気持ちや、これから挑戦したことについてお話を聞きました。



「不安もあるけれど、働くことがたのみです」

初めての海外勤務となる今回の入職。

「言語や仕事のやり方など、分からぬことや不安はあります」と正直な気持ちを話してくれましたが、一方で、「仕事そのものはとても楽しみにしています」と、前向きな言葉も聞かれました。

新しい環境の中で、一つひとつ学びながら、意欲的に取り組もうとする姿勢が印象的です。



日本で学びたいこと・挑戦したいこと

日本での仕事を通して、皆さんのが学びたいと話してくれたのは、看護・介護の技術や関わり方です。

「日本の看護や介護がどんなものなのか、どんな技術があるのかを学びたい」

「患者さんや利用者さんと、どんなコミュニケーションをとっているのかを実際に体験してみたい」

日々の業務の中で、日本ならではの丁寧なケアや声掛けを吸収し、成長していきたいという思いが伝わってきました。



日本で楽しみにしていること

仕事だけでなく、日本での生活も楽しみにしているそうです。

「岡山県に行ってみたい」「新幹線に乗ってみたい」「花火を見たい」「雪遊びをしてみたい」「寿司を食べたい」「東京に行ってスカイツリーを見たい」初めての日本で、たくさんの“やってみたいこと”があるようです。



地域や職場への関心も

インタビューでは、地域についての質問もたくさんありました。

「職員が参加するイベントはありますか?」

「海は近くにありますか?」

「交通手段はどうなっていますか?」

「観光地やおいしい食べ物はありますか?」

福山周辺には、映画やドラマのロケ地としても知られる鞆の浦や、地元で親しまれている府中焼きなど、魅力的なスポットがたくさんあります。

「ぜひ職員との会話のきっかけに、地元のおいしいお店を聞いてみてください」と伝えると、皆さん嬉しそうにうなずいていました。



最後に、皆さんからメッセージ

「日本は初めてですが、これからよろしくお願いします!」

少し緊張しつつも笑顔で話してくれ、その表情から「ここで頑張りたい」という前向きな気持ちが感じられました。



これから一緒に働き、学び合いながら、地域に根差した医療・介護を支えていけることを、職員一同とても楽しみにしています。どうぞ温かく見守り、声をかけていただければ幸いです。



サンタさんから
お菓子のプレゼント



お菓子をもらって大喜び



BIGRUN&神辺スポーツセンターの
元気いっぱいのキッズダンス



盈進中学高等学校の生徒さんによる
迫力ある書道パフォーマンス

株式会社北川鉄工所のボランティアの皆様
ありがとうございました。



第17回 手づくり マルシェ



フードコーナーも
盛り上がりました!



Hālau Nā Leo A Ka Lā の
フラダンス



Wald Bergの
歌とギターで音楽を
楽しむひと時。

先着100名様へ
お花のプレゼント



ツリーの前で
にっこり



十五鼓乃会による
太鼓の演奏



太鼓の体験も
できましたよ



天気にも恵まれ、無事開催
することができました。
ありがとうございました。
次回は4月の開催を予定し
ております。お楽しみに～

手づくりマルシェ Instagram ⇒
イベントの最新情報はこちから
(在宅支援室 稲垣)



“測って、守って、笑顔の毎日” 看護のイベントで地域交流

看護部 副看護部長
山田 隆恵



11月15日に開催された「手づくりマルシェ」において、「看護のイベント」を実施しました。

“測って、守って、笑顔の毎日”をテーマに、当日は、血圧測定・血管年齢測定・認知機能検査の測定コーナーをはじめ、介護相談コーナー、看護師によるハンドマッサージ、減塩味噌汁の飲み比べなど、健康に関心を持っていただける内容を企画しました。



参加人数

血圧測定・血管年齢測定……60名
認知機能検査……………40名
ハンドマッサージ…………45名
介護相談……………15名
減塩味噌汁飲み比べ…………75名



天候にも恵まれ、上記の通りたくさんの皆さんにご参加いただきました。

先着30名様にお配りした手作りの血圧手帳も、早々に配布終了となりました。

血圧手帳は、「測る・書く」というシンプルな習慣を通じて、健康寿命の延伸や病気の予防、治療の最適化に役立つツールです。今回のイベントを通じ、地域の皆さまの健康への関心の高さを改めて実感しました。

測定コーナーでは、血管年齢や認知機能検査の結果が実年齢と異なることに驚かれる方や、減塩味噌汁の味の薄さに驚かれる方も多く、活発な意見交換が行われました。

今後も、地域の皆さんに寄り添う看護部を目指し、健康づくりに役立つイベントを継続して開催していきたいと考えています。

また、参加した看護師にとっても、地域の皆さんと直接ふれあう貴重で充実した時間となりました。

今後も地域に開かれた活動を通じて、健康づくりを支えてまいります。



当院の看護師が
手づくりしました♡



測定コーナーでは多くの方が足を止め、看護師との会話を楽しまれていました。

2026年(令和8年)を迎えて



寺岡記念病院
理事長
寺岡 謙

2025年が終わり、2026年・令和8年がやってきました。

今年は、十干では「丙(ひのえ)」。十二支では、「午(うま)」の年となります。「丙午(ひのえうま)」は情熱や変化を象徴する年とされ、情熱的で強い意志を持ちながら、激しさや変化を伴うという意味合いを持つとされています。

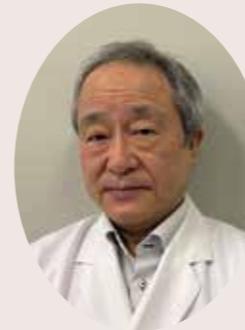
昨年も、様々な事がありました。国際情勢は皆様ご存知のように、戦争やテロリズムなど非常に不安定な年でしたし、国内の政治についても、不透明な情勢が続いています。経済的には物価が上がっており、インフレーションがかなりのスピードで進んでいます。このままではインフレが更に加速し、賃金が上がらない状況であるスタグフレーションが起こる恐れもあります。

また、全国の医療機関や介護施設の経営難が報道されており、地域医療・福祉の基盤が大いに揺らいでいます。このように地域社会には、経済的にも社会的にも激動の時期が来ていると考えています。

ただ、新しい動きも出てきています。何よりも、日本に初めての女性総理が誕生した事は私たちにとって大いなる希望ですし、政治の世界にも若い人材が出て来ているなど感じます。また、坂口志文教授がノーベル生理学・医学賞、北川進教授がノーベル化学賞をそれぞれ受賞され、日本の学術界に明るい希望がもたらされました。

このように多くの課題はありますが、一方でまだまだやれる、日本にも地域社会にとっても希望はあると強く確信しています。本年は、**寺岡記念病院**が開院80周年を迎えます。現在、**鋭意**、**記念誌**の作成に取り組んでおり、また、**記念事業**も準備をしています。私共としましては、80年の長きにわたり地域住民の皆様から受けてきたご支援に感謝し、更なる地域医療・地域福祉の発展に寄与していきたいと考えております。

皆様の新年が、明るく希望に満ちたものでありますよう祈念いたします。



寺岡記念病院
病院長代行兼副院長
熊谷 功

寺岡記念病院に勤務して34年が経過しました。小生より4年早く着任しておられた武田病院長ですが、昨年体調不良で休養されることになり、小生が病院長代行を拝命いたしました。

近頃医療界における共通の話題は、経営状況が非常に厳しい、病院では7割が赤字、人材確保が困難、地域・診療科による医師の偏在、など明るくないものばかりです。地域や同門を見渡しても、閉院・縮小・合併などが目につきます。しかしながら大都会、地方都市、中山間地域、へき地、それぞれの実情もあり、また医療機関それぞれの事情もあるので、一概に言及するわけにはいかないと思います。

故寺岡正先生がこの地に開院されて80周年を迎えた当院は、

地域に必要とされる医療を提供しながら地域に育てていただきて現在に至ったという歴史があります。地域の医療福祉のニーズを確実に把握して、それに十分に応えるべく診療体制や施設を維持・充実・設備しなければなりません。困難は山積みですが、皆で力を合わせてこつこつ地道に歩を進めています。

私事ですが、年を重ねるとともに痛むところが増えたりお世話になる薬が増えたりしています。また高齢の男親が2人存命しています。そういったこともあります。そういうこともあり、診療の場で患者さんやご家族に寄り添いやすくなっていると感じています。

体調を崩し現場を離れた武田病院長の快癒を祈念して筆を置きます。

—揺れをきっかけに、備えを見直しました—

外来 災害支援ナース 藤原 容子

1月6日(火)午前10時28分頃、島根県で最大震度5弱を観測する地震があり、福山市でも震度4程度の揺れを観測しました。

日中の時間帯だったこともあり、揺れを感じられた方も多かったのではないでしょうか。

当院では、この経験をきっかけに、防災への意識が高まっている今だからこそできる取り組みとして、1月8日に災害支援ナースと医療安全管理者を中心に、地震発生時の初期対応を想定した訓練を行いました。

災害は起きないことが一番の思いではありますが、実際に震度4を体感し、これほどに揺れるのかと怖くも感じました。

訓練を行ったことで非常時の物品の見直し再確認をすることができました。

今回の地震時にもエレベーターが1基停止しました。

どこの場を誰がどのように動くのか訓練を通して状況が見て今後の対応を検討、再確認できました。

患者さんの安全を守るため、いざという時に落ち着いて行動できるよう、今後も防災意識の向上に努めてまいります。



※災害支援ナースより、
地震発生時の対応指導



ed / C.Makio

photo / A.Takenobu

＼この季節に楽しむ！／

餅のピザアレンジ

お正月に余った餅で寒い季節の小腹満たしにぴったりなレシピをご紹介します！

栄養管理室

餅の彩りピザ風



材料(1人分)

- 餅……………1個
- ケチャップ……………小さじ2
- とろけるチーズ………10g
- ピーマン、ミニトマト、
パプリカ、コーンなど
お好みの野菜……………適量



作り方

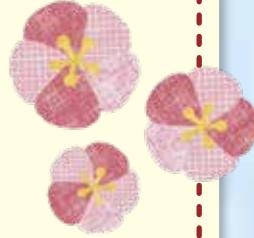
- ①アルミホイルに餅を並べる
- ②ケチャップを塗りその上にとろけるチーズと
お好みの野菜をのせる
- ③オーブントースターで、柔らかくなり焼き色
がつくまで焼く(目安5~6分)
- ④刻み海苔をふり完成

和風もちピザ



材料(1人分)

- 餅……………1個
- マヨネーズ……………小さじ1
- 味噌……………小さじ1/2
- しらす、青ネギなど
お好みの具材……………適量
- 刻み海苔……………適量



作り方

- ①アルミホイルに餅を並べる
- ②マヨネーズと味噌を混ぜて塗り、お好みの具
材をのせる
- ③オーブントースターで、柔らかくなり焼き色
がつくまで焼く(目安5~6分)
- ④刻み海苔をふり完成



切り餅2個(約100g)でご飯1膳分(約150g)とほぼ同等のカロリー(約230kcal)
お餅は、粘りが強く、少量で高いエネルギーを摂取できますが、食べ過ぎや窒息の危険があります。特に高齢者、乳幼児、疾患、嚥下に配慮が必要な方は注意し、1口を小さくよく噛み、飲み物と一緒にゆっくり食べましょう。体調や食事制限に合わせ無理のない食べ方を心がけてください。

